

# かなでだより

令和3年  
12月1日発行

だんだんと冬本番になってまいりましたので、寒さ対策をしっかりとしていきたいものですね。さて今回は「ヘリコプターペアレント」の第三弾、「ヘリコプターペアレントにならないためには」どう気を付けていったらよいのかお伝えいたします。

子どもへの愛情が行き過ぎていることが、ヘリコプターペアレントになる原因の1つでもあります。つまり、誰でもなりうる可能性があるということです。そうならないためには、どうしたらよいのでしょうか？

## 〈アドバイスをやめてみる〉

まずは、アドバイスをやめてみましょう。これは、放置するというではありません。「先回りのアドバイスをやめる」ということです。子どもが失敗しないように、やる前から「こっちの方がいいよ」とアドバイスする方も多いでしょう。これを、ちょっと我慢してみてください。そして、子どもの決断を受け入れてあげてください。もちろん、失敗することが目に見えている場合もあるでしょう。ただ、それが危険なことではなければやらせてあげてください。そして、失敗させてあげてください。そうすることで子どもは、どうすれば良いかを考えることができます。小さいお子さまなら、「次はこうしてみようか」など、後から一緒に考えてあげるのも良いでしょう。

## 〈子どもに任せて決断させる機会をつくる〉

子どもに決断する機会をたくさん作ってあげましょう。そのためには、子どものことを信じて任せるという勇気が必要です。決断は、小さなことから始めてみましょう。「いつ宿題をする」「何時にお風呂に入る」「夕飯のおかずを考えてもらう」など、簡単なことでOKです。大事なのは、子どもが決めたことに文句を言ったり口を出したりしないこと。親の希望と違っていても、受け入れてあげてください。そうすることで、徐々に自信がついてきます。ただ、今まで決断の機会がなかった子どもの場合、始めから自分で決めるのは困難です。その場合は、選択肢を提示してあげるのがおすすめ。「AとBとどっちにする？」と質問して、子どもに決めさせてあげましょう。これを繰り返すことで、選択肢がなくても自分で決められるようになっていきます。

## 〈ヘリコプターペアレントについて理解し行動を見直そう〉

子どもが安心して生活し、成長していくためには、親の力が不可欠です。見守るだけでなく、手を出したり、先回りしたりすることもたくさんあるでしょう。大事なのは、その「加減」です。必要以上に干渉したり行動を制限したりするのは、ちょっと行き過ぎ。年齢に合っていない保護をするのも同様です。

子どもの成長を見守り、自立していくための手助けをするのが子育て。生活面での自立も必要なことですが、精神面での自立も大事です。自分の行動は、本当に子どものためになっているのか……。今と、そして将来のことを考えながら、子育てをしていきたいですね。『ベネッセ教育情報サイト』より一部引用させていただきました。



何かご不明な点や心配なことがございましたら、ご相談ください。

〈放課後等デイサービスかなで〉TEL：011-596-9915

HP： <https://www.jyfd.co.jp>